

2 釜石市の景観特性と景観形成の取り組み

(1) 釜石市の景観特性

良好な景観の形成の実現に向けた取り組みには、保全すべきものは保全し、改善すべきものは率直にその必要性を認めて改善していく姿勢を保ち続けることが必要です。

また、平成23年3月11日に発災した東日本大震災によって傷つき失われた釜石の景観を新たに創り出すことも重要です。

このような趣旨から、釜石の景観を構成する要素を「特に大切にしたいもの」と「改善すべきもの」の2つに整理し、目標像の実現への足がかりとして提示します。

【特に大切にしていきたい景観要素】

釜石を構成する景観要素のうち、これまで日常生活の中で、当たり前の景観としてその価値が十分意識されないままとなっているものを中心に、目標像の実現のために改めて大切にしていすべき景観の要素を、次のとおり整理します。

自 然

■重なりあう尾根や清冽な流れ

市内は、山際が近く奥行きのない地形の中に、甲子川や鶴住居川等の河川によって平地がつくられ、それに沿って道路やまち並みが形成されています。急峻な山々によって形成された緑豊かな山並みは、釜石の自然景観の魅力ある姿の一つです。また、市内には、清冽な水が流れる溪流が各地域にあり、そのほとんどは、周辺に暮らす人の生活と共にあります。これらの景観は、市内の豊かな自然の奥深さ、懐の大きさを印象づけるとともに、それと共生する姿を見る人に伝えてくれます。



甲子川（かっしがわ）

■変化に富む海岸線と紺碧の海

沿岸部では、起伏に富んだ海岸線が続き、日の光にきらめく紺碧の海を深緑の山並みとともに見ることができます。リアス式海岸（沈降性）や隆起性海岸からなる変化に富む市内の海岸線は、国立公園にも指定され、古くから釜石を代表する観光地や名勝として、高い評価を得てきました。

雄大でありながら、繊細な自然美は、重なり合う山々や清冽な流れとともに、釜石の豊かな自然の奥深さや懐の大きさを感じさせてくれ、釜石の景観のイメージを高める重要な役割を果たしています。



御箱崎千畳敷（おはこざきせんじょうじき）

■季節と人々の営みによって変化する自然の姿

市内の景観は、四季と、それに合わせた人々の営みによって、刻々と変化します。

例えば、山林景観は、冬の雪景色から、新芽が春の息吹を感じさせ、その後、夏の新緑から美しい紅葉へと変化する等、周辺の自然景観の変化とあいまって、豊かな情趣をかもし出します。また、周囲の山並みだけではなく、個人の庭や道端、田畑等の様々な場所で、木々の緑や花々を見ることができます。春の若葉や色とりどりの花、夏のいきいきとした枝葉の姿、秋の紅葉、冬の寒さに耐える凜とした梢等、季節ごとにその姿を変えながら、日々の生活に季節ごとの潤いを添えてくれます。

このような四季の移ろいと、それに合わせた人々の営みによって変化する景観は、市内の至るところで個性豊かに見られ、自然と共生しながら、歴史と文化を継承する姿を見る人に感じさせてくれます。



仙人峠（せんにとうげ）



市の花「はまゆり」

■美しい夜空

市内で夜に空を見上げれば、澄み切った空気の中に、月空や星空を見ることができます。美しい夜空は、見る人の心を癒し、釜石の自然の豊かさを感じさせるとともに、そこに住むことへの喜びを与えてくれます。

■歴史を超えて存在する樹木

長い歴史を感じさせる樹木や、地域のシンボルとして親しまれている樹木、街路樹等は、生活環境に潤いを与えてくれる上で、重要な景観の構成要素です。特に桜並木等は、住民の憩いの場として親しまれ、観光資源ともなっています。



本郷桜並木
(ほんごうさくらなみき)



橋野町 石割桜
(はしのちょういしわりざくら)

農 山 漁 村

■豊かな海とともに生きる漁業

豊かな三陸漁場を有し、夜の海に揺らめく幻想的な漁火や漁業を生業なりわいとする人々の活気が創り出す景観は、釜石の特徴的な景観であり、沿岸地域の観光産業を支える上でも重要な要素となっています。



アワビ漁

■伝統的な形態を残す水田や畑

市内には、伝統的な形態を残す水田（堰や堤等の用排水施設も含まれます。）が、旧村部を中心に残っており、自然に働きかけながら、自然とともに生活してきた姿を見る人に感じさせ、原風景としての癒しを与えてくれます。今後もこの姿を維持していくためには、耕作者だけではなく、行政も含めて、様々な主体の参画と協働によって、次の世代に伝えていくことが重要です。

■山ひだに囲まれた山村の生活風景

山ひだに囲まれた山村の生活風景も、「心のふるさと」を感じさせてくれる景観として、末永く大切にしていきたいものの一つです。釜石の厳しい自然と向き合いながら、山に暮らす伝統と文化を感じさせてくれます。今後も釜石の魅力をもっと高めていくものとして、適切にその価値を見出していくことが重要です。



橋野町の集落（はしのちょうのしゅうらく）

■広々とした高原牧野と放牧の姿

山間部では、広々とした高原の畑や牧野がひろがり、そこで働く人たちや、放牧されている牛や馬の姿を見ることができます。これらの景観は、自然と共生する釜石の人々の営みを感じさせるとともに、見る人の心に安らぎをもたらしてくれます。



和山牧場（わやまぼくじょう）

■地場の産業によって形成された産業景観

地域の産業によって形成された産業景観は、歴史あるものづくり産業の拠点である釜石を特徴づけるとともに、産業活動の活力を感じさせるものです。また、風力発電施設をはじめ産業活動が創り出す景観は新たな観光資源ともなっています。



釜石広域風力発電事業

市街地

■景観の魅力を高める建物や橋、道等

建物や橋、道等は、産業や人々の生活を支える重要な基盤ですが、適切な意匠により建設されなければ、景観の阻害要素となる可能性がある一方で、市内には、景観の魅力を高めているものや、地域のシンボルとなって住民に愛されているものもあります。今後より一層、身の周りの建物や橋、道等の魅力を発見し、皆でその価値を高めると共に、この点を意識した新たなまちづくりを進めることで、魅力ある景観形成の実現を可能とします。



日向ダム (ひなただむ)

■市街地の魅力を高める街なみ景観

周辺環境と調和した安らぎのある街なみは、市街地の魅力を高め、地域に対する愛着を醸成させ、地域活性化へ大きく寄与することが期待されます。



甲子町松倉 (かつしちょうまつくら)

■鉄のまち釜石を象徴する産業景観

釜石港とその周辺は釜石を代表する工場地帯として形成されています。そのスケールの大きな景観は、雄大さや機能美を感じさせるとともに、復興に向け力強い躍動感をあたえてくれます。



釜石港の夜景

歴史文化

■地域の祭りや芸能等、地域性豊かなにぎわい

市内各地には、様々な地域の祭りや芸能等の風習が伝わっており、古くから個性豊かなものとして、その価値が評価されてきました。それらは、見る人に歴史と文化を継承する姿を感じさせてくれるとともに、地域の活力を高めてくれるものとして重要な役割を担っています。少子高齢化や過疎化等、様々な課題がありますが、次の世代へこれを伝えていくことが特に求められています。



虎舞（とらまい）

■寺社や仏閣等の信仰の場

釜石湾に向かって立つ大観音や信仰対象としての寺社仏閣、道端にたたずむ石碑は、地域の歴史と文化を感じさせるとともに、信仰を寄せる人たちの敬虔さを伝えてくれ、釜石の景観にとって、欠かすことのできない要素となっています。



釜石大観音（かまいしだいかなのん）

■近代製鉄発祥の地としての歴史的景観

近代製鉄発祥の地であり、「鉄のまち」として発展してきた釜石市内には、その歴史を物語る数多くの近代産業遺産群が点在しています。特に、現存する日本最古の洋式高炉跡である橋野高炉跡の周辺地域は、採鉱から運搬、製錬に至るまでの製鉄工程を総合的に把握できる遺産群が、燃料である木炭となった周辺の森林景観とともに良好な状態で保存されており、世界に誇るべき景観です。



橋野鉄鉱山郷土の森（はしのでっこうざんきょうどのもり）

〔左〕 2012年 〔右〕 1863年頃

【改善すべき景観要素】

市内には、県内外に誇れる景観が多くある一方で、更により良い景観を形成するため、改善が必要と思われるものがあるのも現実です。これらの中には、望ましい姿と言えなくとも、社会生活に必要な不可欠なものとして認められてきたものもあります。また、震災に起因したものには、景観を後回しにしても緊急に対応しなければならなかったものや直ちに改善の難しいものもあります。

しかし、今後、震災を克服し、新たなまちづくりを進めるに当たっては、改めて景観の現状に目を向けて、必要な改善のための具体的な対応を考えることが求められています。

■周辺の景観と調和しない形態意匠の建物等

建築物や工作物は、良好な景観の形成にとって特に大きな存在となります。市内には、魅力ある建築物や工作物がある一方で、周辺との調和を損ない、景観の魅力を阻害しているものもあります。その原因は、位置や高さ、形、色、素材と様々ですが、周辺の地域に調和するよう配慮し、考えることが強く求められています。建築物は、自分のものである一方で、地域社会の景観を構成する重要な要素でもあることを踏まえ、周辺の景観の魅力を高めるよう行動することが必要です。

■廃屋や撤去されずに放置された工作物（屋外広告物）等

廃屋や撤去されずに放置された工作物は、荒廃した印象を見る人に与え、景観の阻害要因となります。管理することが困難であるもの、不要となったものは、速やかに撤去するなど、地域の良好な景観の形成に努めることが重要です。

■景観を阻害する電柱や道路上にはりめぐらされた電線類等

電柱や空を被うように道路上にはりめぐらされた電線類等は、市街地だけではなく、自然や農山漁村景観の中でも、景観の魅力を阻害する存在となっています。電柱や電線は、社会生活を支えているものであり、容易に解決することは難しいものですが、各種の技術的工夫や改善によって、取り組みを着実に推進することが必要です。

■携帯電話中継基地

携帯電話中継基地は、近年、急速にその数を増やし、また、より高く、大型のものも現れて、周囲の景観に影響を与えています。電柱等と同様、現代の社会生活を支えているものであり、容易に解決することは難しいものですが、立地される周辺の景観に応じた各種の工夫によって改善の取り組みを図ることが必要です。

■野立の自動販売機

野立の自動販売機は、利用者にとって利便性が高い一方で、設置場所や色調が、景観を阻害する場合があります。設置される周辺の景観に応じて、場所や色彩の検討、さらには被覆等、十分な配慮を行うことが求められています。

■周囲と馴染まない色彩や意匠の屋外広告物

広告物は社会生活を営む上で必要な情報を提供し、街の活気の演出や魅力を高める重要なものです

が、場所と意匠によっては、まちの魅力を阻害する逆の方向に作用します。特に自然や農山漁村景観では、周囲の景観特性に馴染まない色彩やデザインの屋外広告物が、地域の魅力を低下させている場合があります。また、そのことは広告対象の価値や設置した企業のイメージを損ねることにもなり、地域ごとの景観特性への配慮が必要です。

■屋外における物の堆積

野積みされた廃棄物や資機材等は、周辺の景観と調和しにくく阻害要因となることが少なくありません。荒廃した印象を見る人に与えるものであり、みだりに放置せず適正な管理が必要です。

また、道路際に堆積された場合、道路の利用者に圧迫感を与えてしまいます。堆積の方法や遮へいの検討、また、適正な管理等、様々な方法によって、景観への影響の軽減を図ることが必要です。

■道端や山、川、海に捨てられたゴミや廃棄物

ゴミや不法投棄された廃棄物が、地域の景観を阻害している実態を忘れてはいけません。これまでもモラルの向上を目指した意識の啓発や不法投棄パトロールに取り組んできましたが、景観阻害要因として、景観の観点から市民一人一人の取り組みが必要です。

■土地の形質の変更

丘陵地や山地での宅地造成等は、大きなのり面、擁壁が生じ、景観的に周囲との不調和を生じさせたり、道路等の公共空間から見て圧迫感を感じさせたりする場合があります。震災による集団移転事業に伴うものであっても大規模な のり面や擁壁を設置する場合は、周辺の自然環境と調和させる等の配慮が必要です。

■木竹の伐採

地域のシンボルとして親しまれている樹木等の無秩序な伐採は、その地域の景観の魅力を損なうことにつながり、また、大規模な山林伐採と搬出路の設置は、景観の観点から、豊かな自然のイメージを壊すものとして受け止められかねません。伐採方法の改善や積極的な原状回復及び景観に配慮した搬出路の設置等の対応が必要です。

■鉱物の採掘又は土石の採取

鉱物の採掘や土石の採取は、山の斜面等の目につく場所で行うと荒れた山肌を見せることになる等、景観上、問題となることがあります。道路等の公共空間からの遮へいや、跡地の原状回復等の取り組みはもちろんのこと、山陰等の目立たない場所を選ぶ等、採取場所の選択にあたっての景観上の配慮が必要です。

■景観と調和しない公共施設

公共施設は、その規模や対象物から、地域の景観に大きな影響を与えます。今後まちの再建を進め、魅力ある景観を形成するためには、公共団体が率先して、地域の景観づくりに配慮した質の高い公共施設を整備することが必要です。